

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2015.7.15 No.200

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>



戦争法案「強行採決」の暴挙

戦いはここから！ 断固廃案へ



戦争法案の廃案に向け 杉並区内各地で広がる共同の輪

杉並区内各地で戦争法案の廃案を求めて、連日の宣伝行動が取り組まれています。

JUBILEE! 戦争法案反対・杉並
(杉並に住む若者を中心に戦争法案に反対する有志)による杉並デモが行なわれた(右)。

超党派議員による宣伝も実施(上)。



国民の共同で必ず廃案へ

七月十五日(水) 戦争法案の採決が強行されました。憲法を否定し、国民主権を蹂躪する重大な暴挙です。

世論調査では国民の八割が「国民への説明が不十分だ」と答え、安倍首相自らが「国民の理解を得られていない」と認めておきながら採決を強行したことは全く道理がありません。今、国民のたたかいが政権を追い詰めています。国民の共同をさらに広げ、戦争法案を廃案に追い込みましょう。



両衆院議員に署名を託す。富田、山田、上保の三名の区議が参加(右)。日本全国から届けられた膨大な数の署名。各地で国民の共同が広がっている(上)。



署名は日本共産党の宮本徹、真島省三両衆院議員に託しました。両衆院議員からは国会情勢が報告され「審議を深めるほど、憲法に明確に違反することが明らかとなっている」と語られました。引き続き、署名も取り組みます。みなさんのさらなるご協力をお願いします。

戦争法案の強行採決が狙われる緊迫した情勢のなか、七月十四日(火) 戦争法案反対署名の提出と国会議員要請を行いました。この間、杉並区内でお寄せ頂いた2298筆の署名を届けました。署名へのご協力、本当にありがとうございました。当日は、日本全国から36万9720筆が寄せられ、330人が提出に参加しました。

「戦争法案反対」署名提出 日本全国から36万9千筆超 杉並区から2298筆を届ける

引き続き、住民への情報提供に全力！

住民に開かれた区政運営を目指して

週一回ペースで発行している週刊ニュースが二〇〇号を迎えました。この間、区議会の改選を経験し、議員任期は二期目となりました。区議会議員になる前、区民の一人として「区議の仕事は、区民には見え辛い」と常々、感じており、議員を務める際には「区民への情報提供を徹底的に行なう」ことを心掛けています。

住民の参加は民主主義の土台

国政では、国民への説明責任が果たされないまま、審議を途中で打ち切り、戦争法案の採決が強行されました。杉並区政では、最も身近な行政単位であるのにも関わらず、住民への適切な情報提供が行なわれていません。

週刊ニュース1号・創刊号

日本共産党杉並区議会議員
ここのニュースのご感想をのぞいてください！

こんにちは
山田耕平
です

2013年 新しい年の幕開け
掲げた公約の実現へ 本年も全力！

引き続き住む声を区政へ
本年もよろしくお祈りします

2013.1.1 №100

2013.1.17 №1創刊号

子どもからお年寄りまで 笑顔が輝く杉並区へ

西武バス本社への
要請行動に参加

朝宣伝スタート

宣伝スケジュール

平日 朝7:30~8:30

月曜 上井草駅
水曜 杉並駅北口
木曜 下井草駅北口
土曜 杉並駅北口
日曜 下井草西交差点(午後4時~)

お手紙、ご声援など
大歓迎です！

※過去の週刊ニュースは山田耕平ホームページに掲載しています。

週刊ニュースへの

ご意見をお寄せください

現在の日本の政治は民主主義の土台ともなる住民参加が蔑ろにされています。住民本意の政治・区政運営を実現するために、今後も週刊ニュースの発行等、情報提供に全力で取り組みます。引き続き、みなさんのお付き合いを願います。

外環オープンハウス開催 計画沿線地域の家屋調査を実施

様々な問題を抱える中、外環道本線工事が進められています。地下水脈を断絶する危険、環境汚染、莫大な工費投入等々、問題が山積している状況です。本線地下トンネルの地表部分については、住宅街への様々な影響が懸念されており、土地家屋調査が実施されます。家屋調査の方法などを説明する機会として外環オープンハウスが開催されます。ぜひ、ご参加ください。

杉並区内・近隣での開催

- 7月25日(土) 13:00~17:00
石神井台地域集会所 (練馬区石神井台4-5-14)
- 7月27日(月) 16:00~20:00
西荻地域区民センター (杉並区桃井4-3-2)
- 7月28日(火) 16:00~20:00
本宿小学校地階集会所 (武蔵野市吉祥寺東町4-1-9)

※他の地域でも開催されています。

育メン日誌

育メン日誌も4年が経過！

これまでも取り上げていますが、この4年間、週刊ニュースで最も多くの感想が寄せられているのが「育メン日誌」です。なんだか「育メン日誌」の話にしかならないという悩みも…(苦笑)。

4年という期間は大人にとっては、あまり変化ありませんが、子どもは4年間は大変な成長をします。子どもの成長はあまりにも早いので、毎日の一瞬一瞬がとても貴重です。

この貴重な経験を大切に、親としても成長していきたいと思えます。



週刊ニュースに初登場。(2011年初頭)



現在。本当に大きくなりました。